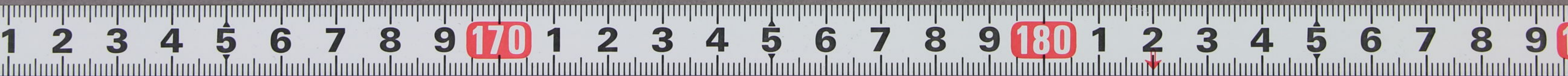


非
小
博
完





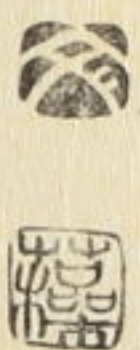
俳林小傳

門生中村克久俳諧
小傳と輯録さるや
糸下毎々其人の出産の
國去當時右住の地
受一業て一家の功を
遂ぐる師名著述乃
書目ももろくはそら
ある其人の各頭の
字を以呂波さへそ
そ名を引くは使ひ
没するは年月時なり
其を記しよるに



走らざるは芭内真行の
 初らるる東の世撰伝記
 年表今彩と子伝記
 寸と心も久く切正
 大なる伝記の是と
 感とるる思ふ事仍る
 之感とる事と以序
 と凡そ本
 いしとる所後

弘化二年記のこの秋
 九月本邦園文彦彦書



俳林小傳

凡例

○編中録スル所守武宗祇ヨリ
 近世葛三二茶ナトスヘテ文明ノ頃
 ヲリ文政年中マデ此道ニ名アル人
 大カタ洩ラス一無キニ見ユ下俳林人
 材幾千方ト云限リテレバ争カ尽ス
 一ラ得バタ其地方ニ貴重スドモ他邦
 ニ聞キル類オホカレバ覽者ソモレ名ヲ
 補正賜ハラバ編者泉下ニ於テ如
 何ニウレシト思ハサランヤ

○俳人ノ名ハ伊呂波歌ヲ以ツイデシ
 搜索ニ便リスト雖假字格ヲ正ス時ハ
 イ井エエヲ等ノ差別アリ字音ノ假
 字ノ紛ヒ安キハカウコウキヤウケウ
 サウソウ等ノ如クウト引ク音ノモノ

德俳諧記
「是れは...」

一 和 尾張一人

一 蜂 河曲氏号田泉舍又
葛仙翁伊勢山田人

一 漁 雀見氏号釣月堂住
江戸浅草其角門人

一 鉄 三輪氏調
和門人

一 華堂 貞徳門人
善和歌

一 茶 号俳諧寺信濃
西柏原村産

幽蘭 調和
門人

幽山 高野丁々軒江戸末
町河岸二住ス元禄

中藤堂候二住テ称竹内
為入於伊勢久居卒長壽

維舟門人
「是れは...」

由平 前川氏宗因門人号
自入京師人宝永中

由的 昌三門人
宇都宮氏

友三 奥西氏京師
人令徳門人

友我 尾張人令
徳門人

友徳 加友
門人

有佐 富岡氏初号露圓後
号露々菴貞佐門人

陰威 今村氏初号楓山白
峯門人江戸麴町二

意深 未琢嫡子改菊川氏
吉田意安ノ門二入

道 學医

イ口

二

以哉坊門五人竹坊

游乃所江膳人

呂部

露沾子內藤下野守諱義英風虎侯嫡子也

學西山宗因号遊園堂又傍池亭

路通京師人蕉門人

鷺水青木氏白梅園又三省軒京師人立圃門

人享保十八年癸丑没年七十六著述新式尸リ

露川澤氏伊賀人住尾張名古屋本町藤屋

市郎右衛門蕉翁門人号月窓居士或作月空居士

露言初号調巴學調和後從露沾子号風琴子

福田氏
以丸書名石印年よりあらくまうり

露牛赤茂氏初學湖十号花夢後從露沾子

露庭露沾子門人

露彫露沾子門人

露言号白堂福田氏露言二男

盧元坊一号黃鸝園里紅美濃人支考門人

延宝四年
丙辰没ス

波部

梅盛高瀬氏陀心子住京師元禄十四年辛巳

四月没八十九歳著述口ま草草あむ草古鏡類

舟集早梅集落穂集沓上石山下水捨子集とい仙

盤齋ハシヤ 加藤氏貞徳門人善和歌

白馬散人ハクバサン 播磨加古山人

白峯ハクホウ 三田氏号風琴子嵐雪門人初学露言寛

保三年癸亥四月十八日卒

白潭ハクタン 沾山人

白雲ハクウン 天王寺道寸門人

耳檢ミミケン 耳檢ミミケン 耳檢ミミケン 耳檢ミミケン

白砂ハクサ 称吉田忠右衛門播州赤穂浅野侯藩中

波留女ハルメ 称春尾張鳴海千代倉蝶羽力女也

百菴ヒャクアン 称寺町三知号新柳軒

百川ヒャクセン 彭城氏名真淵号蓬洲又八十堂

百洲ヒャクシュ 江川氏一号梅山沾洲門人

百里ヒャクリ 高野氏始茅風卜云享保十二年丁未五月没六十三歳

郭公カクキミ 郭公カクキミ 郭公カクキミ 郭公カクキミ

栢十ハクジウ 嵐雪門人

世ヨ 世ヨ 世ヨ 世ヨ

麥水マクスイ 堀田氏加賀人

芳室ヨシム 推木氏号竹泉菴才麻呂門人

仁部

任口ニキ 伏見住西岸寺任律師

任口ニキ 任口ニキ 任口ニキ 任口ニキ

保部

九兆クウシヤウ 加賀人初号加生以警為業無實ノ罪ニ

テ入牢免
後隱京師

北枝 三加賀藩中研師立花
蓮舎ニ没後金澤卯辰山心

先生 御侍醫住鉄炮

養法眼 半井氏寛文中

ト尺 東都人住小船町称
小沢太郎兵衛初学

吟叟号孤吟後入蕉翁門
請改号翁命曰ト尺

ト雪 喜多村氏
西武門人

ト一 菊岡氏山城伏見
人ト養法眼門人

ト仙 眼ト養法
眼男

ト入 梅原氏ト養
法眼門人

尾張津
島人

美濃大垣人白櫻下
谷九兵衛又九太夫

業醫任近江大津蕉
翁遷化時非以人醫

直江氏号
阿山人

二代湖
子

木髮 門木髮
人

加賀金澤人磨
工也芭蕉門人

馬田江氏
享保中人

号石壽菴京師
人竹亭門人

テ入牢免
後隱京師

北枝 三加賀藩中研師立花
蓮舎ニ没後金澤卯辰山心

先生 御侍醫住鉄炮

養法眼 半井氏寛文中

ト尺 東都人住小船町称
小沢太郎兵衛初学

吟叟号孤吟後入蕉翁門
請改号翁命曰ト尺

ト雪 喜多村氏
西武門人

ト一 菊岡氏山城伏見
人ト養法眼門人

ト仙 眼ト養法
眼男

ト入 梅原氏ト養
法眼門人

尾張津
島人

美濃大垣人白櫻下
谷九兵衛又九太夫

業醫任近江大津蕉
翁遷化時非以人醫

直江氏号
阿山人

二代湖
子

木髮 門木髮
人

加賀金澤人磨
工也芭蕉門人

ト枝 尾張津
島人

美濃大垣人白櫻下
谷九兵衛又九太夫

業醫任近江大津蕉
翁遷化時非以人醫

直江氏号
阿山人

二代湖
子

木髮 門木髮
人

加賀金澤人磨
工也芭蕉門人

馬田江氏
享保中人

号石壽菴京師
人竹亭門人

邊部

平次

号臯月貞佐門人
住東都難波町

米仲

沾山人

飄水

龍野氏新之丞播
磨加古郡別府人自

得又号富春齋

ふらふらやうりやうりやうりやうり

登部

土芳

初芦馬号此中菴又
簾中菴伊賀上野人

通称服部半左衛門名保
英享保十五辛庚戌正月

十八日卒葬
長田西蓮寺

杜國

号万菊九又岩菊磨
尾張名古屋伊勢町

人通称壺屋平兵衛後隱
三河知多郡保見山中元

月三年庚午五
月二十六日没

杜岩

伊賀上野人士田氏
称小左衛門享保十

四年己酉八
月六日没

登米

京師人九
兆力妻也

東順

竹下氏迎江堅田人
以医為業住于江戸

元禄六年癸酉八月廿九
日没七十二歳葬于麻布

二本榎
上行寺

其ク用の美八

東巴

郭子

東潮

和田氏号猪中子又
一甫嵐雪門人住江

東來

山岸氏称半六伊賀
上野人半残ノ甥也

東藤

尾張人

德元

齋藤氏号悦亭岐阜
中納言家人領二千

石後出

江戸住白樂町著
法服称德元作排諸五德

七

見初學抄寛永中人也
何と云ふもまをくまをささるのまじ

徳友 徳元 門人

徳純 徳門 人

「いさふのるまはくははるまは

等哉 伊賀 人

等躬 相樂氏陸奥 須賀川ノ人

桐葉 林氏尾張 熱田ノ人

藤六坊 美濃國岩佐ト云 山里ニ住シ在

僧ナ

吞舟 近江大津ノ人

知部

知月 尼 近江大津 馭佐右 衛門カ妻少年ノ

知足 号照軒又蝸廉亭尾 張鳴海住通称千代

倉勘左衛門室永元年甲 申四月十三日没ス六十

六歳

千里 大和國葛下郡竹内 村人号損居士入道

偶二日心中由未無閉開 本源自性施塵埃損之又 損損非損是貪是嗔任去 来元祿九年丙子七月十

七日 没ス

千代女 加賀松任馭福松 屋六女衛カ女也

後号素園安永四年乙未 九月八日寂ス享年七十

四歳金沢浄土真 宗専光寺ニ葬ス

千

八

丈草 内藤氏幼名林之助

山ノ重臣八月五日自ラ指テ

切リ武門ヲ辞シ繼母ノ

野山先聖寺王堂和尚ノ

禪意ヲ傳ヘ蕉翁ニ從テ

俳諧ヲ學ヒ湖南栗津ノ

龍カ岡ニ茅屋ヲ結ヒ号ニ

佛幻菴スナハチ蕉翁ヲ

開祖トシテノ堂ヲ創ム

翁減後一石一字ノ法華

經ヲ寫シ墳ニ築キ元祿

十七年甲申二月廿四日

病床ニ座シ寂ス行年四

十五龍カ岡東林ノ中水

田正秀カ墓ニ並ヒテ墳

大石 早川氏号

重五 尾張名古屋上村木

衛門後開居干

重友 鼠雪門人

重徳 信徳門人

重次 乾氏大津人

重榮 竹山氏京師人雛屋

重辰 児玉氏尾張

長雀 常仙門人

長好 廣沢氏貞

中和 沾山門人

忠知 見多

向炭ヤサぬひうをの枝

珍碩 号洒堂林濱田元祿中

竹亭 溝口氏常矩門人元

於多 禄中次ス著述俳諧

竹亭

和門人及

竹平

赤穂義士神
寄與五郎

橋良

伊勢人安永五年
丙申五月六日卒

橋堂

栗田氏伊豫松山
人号息隱昆宜菴

利部

利休

名宗易号地釜堂初
田中與四郎後千氏

二改以茶道豊臣家ヨリ
三千石ヲ王ノ天正十八

年没ス七十四歳
利休中野氏ノ子也

利牛

蕉翁門人
池田氏

利雪

称中野與兵衛
伊賀上野人

里風

親氏住芝三島
町調和門人

理水

大傳馬町二住
ス調和門人

李由

秋氏亮隅上人住湖
東平田村光明遍照

李東

加賀金沢在洲上村
大庄家蹴鞠ヲ能ス

夷登

櫻井氏周竹門人受
嵐雪點式於周竹号

雪中菴住于深川初号李
峒著述和竹声或問珍室

曆四年甲戌年
六月廿五日卒

立圃

野々口氏名親重通
称次郎左衛門号雜屋

又松翁京師人寛文九年
巳酉九月没七十一歳著

述々ふい草徳万歳花月
子句以衣花帰花明鐘袖

中記翁子句碁打子句
河舟みこの翁方句去楓

小町踊春繁集老鳥千句
きり火打志ほし箱片論

車硯えいりい詞よせ大
琴空吃ぶて江戸紫とさ

嘉貞

常陸下館人住江戸
以蹴鞠被稱明和六

年己丑二月八十余歲卒
鞠警嘉貞居士本所多田

藥師地中ニ碑アリ
おもしろい涅槃の伎の傍に

可頼

青地氏京師
人貞室門人

可全

人村氏京都
人季吟門人

可都里

人甲斐

歌川

越前三國荒町屋
某カモトノ遊女

暇ヲ乞テ京武ニ遊ヒ歸
テ又ツトム後蓬髮シテ

町ハツレニ巷ヲ結安永
六年丁酉七月病テ死ス

別々ニ志スル者ハ少ク
引續キテ志スル者ハ多ク

何處

大坂ノ人享保十六
年辛亥六月十一日

卒光明山念
佛寺ニ葬ス

河東

伊藤氏稱河部屋藤
右衛門号十寸見堂

乾什ノ友トシ善シ住東
都品川町半太夫門人淨

留瑠太夫ナリ享保乙巳
年七月廿日没ス行年四

十二歳築地本願寺地中
成勝寺ニ葬ス法名清西

ト謚ス

介我

佐保氏号甘雨亭又
普仙住江戸享保三

年戊戌六月十八日没六
十七歳葬干浅草本願寺

柩のそばのてら白ひうり

我尚

砂岡氏下総結
城人介我門人

幸和

江寄氏京師人羅屋
立圃門人著述わら

竹底ぬ
け白

好柳

垂井氏調和門
人住東都京橋

松石と香のそと川を去り日

康工

希因
門人

敲石

中村氏稱太左衛門
号匍匐菴武藏崎玉

郡谷原村里正十リ天
明八年戊申七月死ス

カ夕

十三

岩泉 磯野氏蕉
翁門人

岩籙 其角
門人

角上 秋氏名明因号瞬七
亭近江堅田本福寺

高爰 号宗本寺半蓮社京
師人談林流行ノ比

葛三 信濃人相摸
鳴立菴ニ住

多部

桃青翁 松尾氏通称甚七
郎為藤堂家臣受

坊又天々軒釣月堂住江
戸深川名其居曰芭蕉菴

遊元禄四年甲戌十月十
二日大坂御堂前花屋仁

左衛門力宅ニテ遷化五
十一歳天保十四年癸

卯被奉花本大明神
隣号太白堂通称天野

蕉翁ヲ慕ヒ東都ニ来リ
神田及本石町ニ住ス別

号挑池堂具竹菴後称挑
翁享保四巳亥年十二月

九日没ス八十一歳浅草
光明寺ニ葬ル著述むつ

桃妖 加賀山中人
蕉翁門人

澤菴和尚 東都品川
東海寺住

引...
...

道繁

佐々木氏京都人

道節

長津平野人寛永中
住江戸兼應三年甲

没午

當國

稻川氏号了華亭住
神田初學盤谷後從

聖嵐

塘雨

五井氏
京師人

忠和

神野氏称長三郎
承應中江戸人

苔蘇

伊賀上野人岡本氏
名政次通称治右衛

苔蘇

門宝永六年己丑三月三
日卒城東妙花禪寺葬

苔蘇

古壽衣氏提亭齋
之子号提亭齋

大立

瀧田氏才
鷹門人

大立

炭氏号
不夜庵

太祇

炭氏号
不夜庵

大魚

松岡氏号加香因幡
産大坂住ス蕉翁

仕ノ末弟ニ終焉ノ枕ニ
後湯花菴ニ行本尊正觀
音一鉢蓑笠天井ノ襖ニ

張タル反古ヲ取集浪花
ハ歸蓑笠ハ惟然ニ讓ル

播磨僧位山風羅堂ノ策
塚ニアリ本尊反古ヲ愛

ハシ門人大蟻ニ送ル本尊
ハ駒込因通寺ニ納ム太

曆魚九十歳ニテ宝
曆九年己卯卒

岱青

渡辺氏号五老峰尾
張藩中通称源右衛

門

淡々

松井氏号半時菴又
称森三楊大坂人其

團水

角門人宝曆十一年辛
巳十一月八十八歳卒

團水

北條氏号百眼居士
才磨門人宝永八年

丹水

東湖門人
住深川

卒 辛卯

卒 辛卯

潭北 常盤氏号百花莊下
毛那須人其角門人

著せひこ。後の月日。交
古さらへ。と。の。と。と。と。
非書ノ外。民家分量
記。分量。夜話等アリ

高尾 東都新吉原三浦屋
遊女幼名小ぶ。後

陸奥仙臺候ニテ於招ノ
方ト云依無子熊谷齋宮
二男ヲ養子トシテ禄千

石ヲ給フ招原新太夫是
十リ仙臺荒町口蓮宗佛
眼寺ニ墓アリ表妙法淨

休院妙讚日晴大師享保
元年丙申十一月廿五日
少ラ招原常之助源範清

義母逆終行年七十七歳
ニテ營之。于時正徳五年
二月二十九日トアリ

書印もよ。う。う。虚。と。免
コハ三浦屋ニテノ句ナ
シルへ

王菊 東都新吉原角町中
万字屋ノ遊女常ニ
好俳諧享保十一年丙午
三月廿九日死ス行年廿

五歳玉菊追善ノ句集袖
草紙ハ岩本乾什カ編ハ
所ナ

卓袋 称箔屋典兵衛
伊賀上野人

探志 近江膳
所人

禮部

令徳 鶏冠井氏号地隣庵
京師人初名良徳當
時ノ御諱ヲサケテ令徳
ト改ム延宝七己未年九

十一歳ニテ終ル貞徳ノ
門人ナリ著述崑山集。俳
諧四十余年。土塵集。親灸
諸四十余年。土塵集。親灸

令富 京都人学令徳
其家ヲ相續ス

令菴 三田白峯嫡子業
医住東都神田

了雨 吉田氏才

夢太 太島氏雪中菴三世

号空摩居士天明七年

丁未九月七日没年七十

深川六軒掘要津寺ニ

葬

曾部

曾良 河合氏稱物五郎信

濃諏訪人從蕉翁下

陸奥途ニシテ薙髮時有

黒髮山之句室永六年已

丑年十月廿二日壹岐國

松本ニテ終ル蕉翁ノ高

足夕

素堂 山口氏名信章号今

日菴甲斐酒折宮祠

官初稱未雪住江戸本所

享保二年丁酉八月十五

素秋 熊谷氏嵐雪門

人住東都橋町

楚乃女 度會氏伊勢松坂

人岡西惟中ニ嫁

ス夫ニ後レテ東都ニ来

リ蕉翁ニ随從ス六十歳

名ヲ知鏡ト改メ冠里公

ノ母君ニ仕フ享保十一

年丙午四月廿日没年

六十三著述菊のちり

有る

京鑑 支那三郎範光世

世仕足利將軍延徳

元年義熙公薨スルニ至

リ範光主君ノ別ヲ悲シ

ミ仕ケ寄シテ剃髮シ模

津尼ケ寄シテ剃髮シ模

山崎ノ竹林ニ隠ル晩年

卒年八十九

宗祇法師

号自然齋又種

助法師ニ從ヒ連歌ヲ能

ス文龜二年壬戌七月相

宗長法師

号柴屋軒駿河

門人天文元年壬辰三

宗收

門人貞徳ノ師

宗甫

豐大閣頃深水三河

守入道朝鮮陳ノ時

宗因

西山氏諱ハ豊一通

保年問ヨリ浪花天満ニ

住ス紹純ノ門ニ入ル忘

吾齋一幽子向栄庵西翁

梅翁野梅子梅花翁等ノ

教号アリ延宝中東都ニ

来住シ天和二年壬戌三

月二十八日没年七十八

著述廿日草。四人法師。十

會集。くうらら百韻。兩

吟集。智吟集。ひるらみ

宗畔

畔或作伴馬洲氏始

門人明曆元乙未年没

宗養

慶長ノ頃

宗英

安静門人

宗春

西山宗

尊明

服部氏住本

存義

馬場氏初泰里号李

有無菴住萱場町

前田青峩門人

則常

伊豆氏京師

都部

常長 村田氏号松風
軒貞享中没ス

良部

羅人 山口氏号老桂窩又
蛭牙齋室曆中没ス

羅山子 林氏名道春貞徳
翁尊テ惺窩ノ門

來山 小西氏号十万堂又
華城南今官村ニ幽栖ス

來川 足立倫里
男号水軒

泉寺住職元禄十六癸未
寂三十二歳

嵐雪 服部氏号雪中菴越
後人幼年仕新莊候

上候改称彦兵衛黄落庵
寒蓼堂不自軒玄峯堂等

町宝永四年丁亥十月十
三日没ス年五十四駒込

常驗寺ニ葬ル著
述ク袋。若水

嵐蘭 松倉氏仕板倉候諫
ラ奉リ官ヲ辞シ隱

蘭亭 高野氏
百里男

關更 京師人加賀
希因門人

東都淺草遊鎌倉薰翁門
人元禄六年癸酉八月二

没十七日

ラム夕

十九

十九

十九

十九

十九

十九

十九

十九

十九

十九

十九

武部

無倫

志村氏号拾柴軒又

李吟門人享保二年丁酉

二月二十九日没ス年六

十三青松寺中ニ葬天質

壽現居士トオクリナス

「ついでてみゆのいふまゝに

宇部

卯七

号壯年亭長寄

羽笠

人蕉翁門人

宇古

称福屋弥右衛門尾

張熟田中瀬町住ス

原田氏和泉郡山重

臣始才膺ニヨリ後

雲鈴

号摩詰菴佐渡國へ

薄雲

渡同所日記ニ卷著

スハ

東都新吉原三浦屋

ノ遊女万治高尾同

時信濃國埴科

郡鼠宿ノ産

「河童やばしうさぎんひらねん

爲部

維舟

松江氏名重頼京師

人俗称大文字屋治

右衛門祝髮号維舟貞德

門人延宝八庚申年没ス

七十四歳著述毛吹草。犬

子草。時世をうと。浮世長

男。懐子。溜池。河ぶさ。乳母。

大井川。佐夜中山。いさ

ウキノ

二十

惟中 初一時軒前ノ西

伊勢及浪華ニ住ス望一

風ノ書ヲ能ス元

惟然 廣瀬氏安通カ舍弟

也宝永庚寅年

五月廿一日没

為右 京人

乃部

能順 京師北野社司十リ

テ小松梅林院ニ住ス宝

永三年丙戌十一月二十

八日七十

九歳卒ス

久部

句空 山心蓮舎ニ住ス辰

蠅名 治山門人

和及 高村氏自カラ露吹

庵直唱法師ト称ス

常長門人洛壬生村ニ住

ス元禄五年没ス年四十

和年 平安人雛屋

和英 号壺枕齋調和養テ

子トス享保二年丁

門跡寺中ニ葬ル

和推 堀尾氏号鼓柳堂調

和全 堀尾氏号敬而庵和

五ノ春改称和
芝濱松町住

和専 門和人

和葉 門和人

和葉の葉と枕

郭月 養子

花好 下総猿島郡関宿
町箱島氏妻寛延二

戊辰年嫁セシ人ナリ
村門人九十六歳ニテ死

子ハ白ク赤クありてハ白ク

槐市 中尾氏名宗重称源
左衛門伊賀上野人

也部

野水 尾張人住名古屋大
和町称倫前屋佐次

野坡 右衛門

志田氏越前人江戸
兩替町三井兩替店

勤ム後西海日向ニ遊
元文五年庚申正月三

七日死年

羊素 鈴木氏沾
徳門人

養得 門人

陽秋 瀬尾氏挑
翁ノ子也

野明 京人

也有 称横井孫左衛門尾
州候藩五十歳致仕

シハ旬ノ賀ニ爾君ヨリ
響ヲ給フ著述野夫談

松風ノヤ

万部

正秀 水田氏 稱利石衛門
近江膳所藩中物頭

萬翁 二世 一炊庵 浪華人
通稱 鑊屋莊左衛門

萬乎 稱大坂屋二郎太
夫伊賀上野人

九山 稱權太左衛門 陸奥
仙臺産享保ノ末相

撲取也 身長丈六尺五寸
重廿四十三貫目 手形八

寸余 常二好俳諧 蓼太撰
蓮華會集一句アリ 肥前

長寄ニテ 死ス同所 禪宗
浩臺寺ニ葬ル 長寄ノ入

口日見 峠ニ墓アリ
法名九山良雄信士

法名九山良雄信士
口日見峠ニ墓アリ

計部

玄音 法印 幽齋ト
從二位 細川兵
部大輔 藤高玄

玄札 高島氏 伊勢山田人
慶長ノ頃 江戸ニ出

テ遊ブ 業トシ 傍ラ俳諧
= 遊ブ 門人ニ 疎心アリ

著述十種 千句
くらしのしるし 浮世五人宛 卯申

玄仍 昌門 叱人

玄的 昌門 琢人

玄武坊 村上氏 住東都駒
込白山下 朴齋門

元次 安原氏
貞室男

元貞 徳門 元人

元隣 山岡氏 京師久季吟
門人著述仕やう

ケ
二十三

三つとととやひくつこの秋

乾 岩本氏初吳文号千
什 歳見子英門人後從

沾易宝曆九年巳卯
十二月十七日没ス

兼 門田氏進法橋住東
豐 都久保町ト養門人

つゝお松をのくのもつゝ

原 加藤氏号狸々庵常
松 陸笠間ノ産其角門

人伊賀上野ニ住シ後京
師ニ住シ虎翼居士ト云

休有やのりのまひ望日の

原 佃房ト号ス近江八
元 幡ノ人原松門人

あつてつゝあつてつゝあつて

慶 牡丹花肖拍ノ長子
友 温野ト養其子半井

ト養二代目
シ慶友ト云

慶 号四時庵荷桂子
紀 江戸人祇空門人
逸

惠 藤本氏貞
佐 室門人

荊 官崎氏美濃大垣人
口 此筋千川文鳥三子

ノ皆此人也

曉 又和央氏姓藤原氏
雲 多賀名信香幼名猪

三郎後次右衛門ト称ス
蕉翁門人画ヲ安信ニ學

七書ヲ佐玄龍ニ學フ英
一 蝶朝湖齋北窓翁等ノ

諸号アリ東都深川長堀
町ニ住ス享保九年甲辰

正月十三日没ス七十三
歳二本履承教寺ニ葬ス

法名英受院ス一
蝶日意ト謚ス

曉 尾張名古屋ノ人暮
臺 兩庵ト号ス又周摩

聖門等ノ称アリ寛政四
年壬子正月二十日卒ス

幻 鎌倉内覽寺大巖
呼 和尚其角門人

敬 和紀伊國屋文左衛
雨 門紀伊國屋文左衛

人丸のこころはつゝあつて

不部

不ト

岡村氏号一柳軒住
江戸堀江町未得門

人元禄四年辛未四月九
日卒墳在平河山法恩寺

著述つ、さか系
とる後名於今、てらさる

不能

立羽氏号松月堂又
称千翁不ト門人享

保中進法眼宝曆三癸酉
年六月九十二歳ニテ死

ス著述流りんふ信順行。
母恩集。木曾の麻衣。七十

五版焼。其後。百人一句。
有破海。あぐりせ論

不局

立羽氏不角男号安
月堂著述とるのり

爪姿集

不人

貞宜
門人

不覺

佛行坊僧都敬巳宝
曆六年丙子四月十

七日逝ス
とるのり

風律

野坡門人安藝人天
明二壬寅年六十五

風堂

山崎氏号月嘯軒住
東都神田調和門人

風曝

一晶
門人

風虎子

内藤候左京亮諱
義泰著述夜の綿

信太のうき

とるのり

風時

浅井氏称利右衛
門伊賀上野人

風國

洛人去来甥泊
船集ノ撰者也

風皇

常陸國真壁郡下館
人姓藤原氏中村俗

称共左衛門夜半
亭宗阿門人ナリ

とるのり

とるのり

「...」

古連 嵐雪 門人

「...」

言水 池西氏号紫藤軒又 凡下堂京師人中頃

住江戶玄札門人或云季 吟門人享保四年己亥九月二十四日没年七十二

壺彫 石川氏沾 門人

吾竹坊 琴左又歸童仙 伊元坊門人

吾山 武藏越谷人 柳居門人

弘永 浪華人維 舟門人

今更 村田氏初行号二十 苜菴住東都神田白

黒路 山口氏宗齋 述寄南香 号須广屋

穀我 佐保氏介我男 とぶ堂ヲ著ス

工多山 尾張人

工呻 武都山下 町ノ住

延部 並惠

永仙 文龜ノ項 宗祇門人

永三 号懷徳堂昌 易弟業儒

艶士 横田氏号壺谷 軒調和門人

猿雖 号西麓菴又意專通 称内神屋惣七郎或

六太夫伊賀上野人宝永 元年甲申十一月十日卒

正崇寺 正崇寺

遠水 樋口氏福田凡琴子 門人住東都五郎兵

衛町 梶白やまのの屋のうらハ

越人

号眉山子肥後熊本藩称佐分利平次郎

有故仕ヲ辞シ尾張名古屋ニ来リ紺屋ヲ業トス

時ニ菱屋重藏ト云歸参スルニ及ヒ越ノ字ヲ憚

リ改称蘆夕又蘆碩元禄十五日

没熊本流長寺ニ葬リ雪溪苔耻ト謚ス

天部

貞徳

幼名熊若後改地也九又長頭丸号花本

道遥軒松永氏彈正久秀孫住千京師慶長三戊戌

年八月近衛龍山公九條玖山公ヨリ法橋宗頼法

眼紹巴ニ仰アリテ貞徳ニ俳諧一道ノ宗匠タル

ベキ免許アリ承應二癸巳年没ス年八十三鳥羽

室寺ニ墳墓在リ松永明心居士ト謚ス著述和歌室珠二十卷歌林櫛櫛二十八卷戴恩記御傘淀川油粕紅梅十句

貞室

安原氏初名正章通称彦左衛門宗養門

人一囊軒ト子シ貞徳ノ子十リ著述玉海集句續

悲母追善百句自注永室鳥獨吟千句片言五條百

句等アリ寛文十一年辛亥六十四歳ニ没ス

貞佐

桑岡氏初名了我号俗ニテ称平三郎從其角

改号平沙後貞佐享保十九年甲寅九月没六

貞佐

水原氏号一十軒延享中没

貞冥

中島氏号紅葉軒一

号蝶々子花樂軒住江戸小田原町万治中友人

著述思出草物忘草朋友集たらしき松茸草い

テ

貞兼 藤谷氏初名貞母号
仰雲軒一號桂翁元

貞恕 乾氏越前敦賀人住
近江大津貞室門人

貞山 相淵氏号蘆九舍又
湖月堂松永尺山男

貞清 貞恕
門人

貞隆 佐保介我從弟貞室
門人品川人住武彘

貞賀 貞山男号
一洲堂

貞屋 貞山
門人

貞因 獲並氏称鱒屋善右
衛門京師人貞柳父

元禄
中没

堤亭 其角門人深川法
禪寺二墳墓アリ

超波 清水氏号獨步菴江
戸ノ人貞佐門人初

長兵衛ト称ス味噌商人
十リ俄ニ髪ヲ削リ家ノ

紋巴ト長兵衛ノ長ノ字
ヲ合セ長巴ト称ス後改

曰超波元文五年庚申七
月廿七日三十五歳ニノ

没墳諏訪淨
光寺ニアリ

認和 岸本氏号壺瓢軒又
士齋安静門人石見

人寛永中東都ニ来リ兵
服町ニ住ス正徳五乙未

年十月十七日没年八十
余墳築地御堂地中ニア

クリ調和院道鑑居士トオ
クリナス著述是まて草

鳥醉 白井氏称嘉左衛門
上総國埴生郡地別

朝叟 石内氏其
代柳居門人

テア 二十九

卯花身よりわが道徳

萩子

过氏名景方通称五平治伊賀上野人享

蝶羽

保十四己酉年十月十日卒超誓寺二葬ル

蝶夢

尾張子代倉勘左衛門

ノ幻阿五升庵泊菴等

全寺町上阿弥陀寺ノ子

院ニ住シ後洛東岡寄ニ

閑居ス粟津ノ蕉堂再建

セシ人也寛政四壬子年

十二月廿四日

六十四歳卒

安部

安静

萩野氏号似空軒貞徳門人貞享中没ス

八十歳著述鄙諺集。けふの細布。如意宝珠

「安里」浦白多里名 溪の巻

安里

内海氏京師人梅盛門人

奥易

元禄中東都新吉原三浦屋妓

秋之坊

加賀國ツルギノ人末期ニ至テ云ク我曆ヲ作レリ正月四日ヨロヅ此世ヲ去テヨ

シト言ヒ

畢テ死ス

左部

才麻呂

或作西九西麻呂 推本氏一名則武

字少文号舊徳翁大坂人 住江戶石町四丁目元文

二年丁巳正月二日八十 二歳ニシテ没ス宗因門

人 一 九

才尾

豐島氏有紀堂後
改佳風江戸人才
門人享保二丁酉年十
二月没又四十九歲

才牛

元祖市川團十郎幼
名海老藏曾テ好能
諸才磨門人元禄十七改
元宝永元甲申年二月十
九日死又享年五十四歲
芝三縁山地中常照院二
譽入室覺栄

山夕

樋口氏未
得門人

月夜

山夕

桃井氏鳴蛙井始仙
水山夕男住東都久

山川

稱寺村弥右衛門藤
堂候ノ臣其角門人

花橘

下ヲ書又

杉風

号採茶意勤禪納屋稱
鯉屋市兵衛茶舎蓑

杖藜翁等ノ号アリ住東
都小田原町享保十七年

壬子六月十三日没又八
十六歲築地本願寺地中
成勝寺ニ葬ル一
元居士ト謚ス

杉尋

堂久米田氏号柳居藤
堂侯侍匠其角門人

享保十四巳酉
年十二月卒

三竹

野間氏典藥
頭昌三門人

三之

貞徳
門人

傘車

号一漁子霍海或豆
花後改称晋河堤堂

傘下

住東都浅草御藏
前代地享保中人

在邑

蕉翁
門人

松山

定武

服部氏常矩門
人元禄中ノ人

巢兆

号穉香菴江戸
ノ人千住ニ住

サキ

幾部

季吟法眼

号拾穂軒北村
氏初業医称廬

庵平安二出為玉津島廟
祝後幕府二召レ五百

石ヲ賜フ貞徳門入室永
二年乙酉六月十六日平

年八十六東都下谷池端
正慶寺ニ葬ル著述山の

井。む々色木。而志月夜。い
ふこ。新大筑波。諸国独吟

七合集。はいら合
歌書万葉集抄。八代集抄。

源氏物語抄。枕草子抄。徒
然草抄。伊勢物語抄。百人

抄一首

其角

宝井氏竹下東順ノ
男榎本ハ母方ノ姓

十リ幼年源介ト称ス号
室晋齋又狂雷堂任而堂

六病菴善哉菴雷柱子螺
舍涉川等ノ数号アリ画

名ヲ著子ト云住東都日
本橋伊勢町室永四丁亥

年二月三十日没ス年四
十七歳喜竟居士ト謚ス

墳ハ二本榎上行寺ニ在
リ著述新山家。みふく

了。勺淡。なれう家。勺凡才。
露集。いつとむら。類拙

子。花つ。雑談集。焦尾琴。
若葉合。三上吟。枯尾花。う

葉ら若

其諺

号四時堂
京師ニ住

其川

二代湖
門人

其栗

称海津半右衛門尉
其角門人秋田彦老

鬼貫

平泉氏号槿花翁又
羅々哩居士即翁振

津伊丹人

称上島三郎兵
衛元文三年戊午七十八

没ス

祇空

稻津氏難波人初号
音流祇徳祇明衣邦

空隨魚貫等ノ師十リ享保十八癸丑年四月没ス
或作敬兩薰門人十リ

祇德 号自在庵江戸人
祇道 住東都塚町新

希因 加賀人北枝
乙由ニ学フ

几圭 京師人巴
紀逸 十二代湖人

枳風 蕉翁門人
去來 向井氏称平次郎又治郎大夫名兼時又

義馬号落柿舍肥前人京師ニ出仕飛鳥井家住鴨

河東聖護院後別荘ヲ嵯峨小倉山ノ麓ニ營ム菊亭内府公落柿舍ノ三字ヲ賜フ

許六 森川氏通称五助字羽官号五老井別号

百仲無々居士菊阿佛正德五乙未年八月廿六日没六十歳近江彦根藩士著凡俗文選

曲翠 菅沼氏近江膳所藩中食禄五百石其妻能二和歌破鏡是也曲翠享保五年庚子七月二十日卒

舉白 草壁氏蕉翁門人也元禄頃著馬蹄二百韻

虚堂 神宅氏一晶門人
みくもやちまゆふもる系

奂影 祇空門人

玖也 杉山氏大坂人宗因門人
むらさきのこらゆるやまを綴り

牛竿 露言門人
おきハ松の咲るつりりふ

キ
三十三

牛吞 号米庵初入貞山門
号徳山後入米仲門

改牛吞寛政四壬子年
三月五日没七十歳

吟市 释氏安住院尊海和
尚近江銀唐居又

大徳院高弟俳諧学季
吟天和二壬辰年寂

吟市 尊海和尚門
人津久見氏

琴藏 一晶
門人

琴風 号如羅架大坂ノ人
江戸ニ来テ蕉翁ニ

学ニ後其角ニ從フ
「翁の眼ヲ落ルル所」云

銀葉 一晶
門人

九節 称内神屋源六
伊賀上野ノ人

舊室 活井氏踏々坊ト号
ス江戸ノ人身ノ大

大ニシテ世ノ
人天狗坊ト云

窮樂 龜田氏賣茶翁佃
房ト文トシ善シ

丘高 伊勢
人

由部

夕霧 元京師島原ノ遊女
寛文十二年扇屋某

大坂新町ノ郭ニ移住ノ
時共ニ下ル常ニ能諧ヲ

好ム延宝六年戊午正月
六日没又西寺町浄国寺

二葬ス花岳芳
壽信女ト云

尚白 江左氏名ハ三益又
木翁一号芳齋近江

大年ノ人享保十七壬子
年七月十九日没ス七十

松江 号自準常陸潮来ノ
人医ヲ業トス本間

道悦ト称ス蕉翁ニバク
江カ家ニ宿ル依テ翁ノ

書アマタ藏スソノ子
孫世々俳諧ヲ好メリ

松浦 原松ノ門人

松意 田代氏号川草子又
淡林軒宗因門人大

坂人住江戸北鞘町

松堅 官川氏或作宮部初
名正由号枅園菴住

京師享保十一年二月
二十三日没九十六歳

秋色 安岐女号菊后亭東
都照降町菓子屋大

目力女十三歳ノ時上野
ノ花見ニ句アリソノ櫻

今ニ秋色櫻ト呼傳フ其
角門人点式附屬享保十

乙巳四月十
九日死ス

秋風 二代湖
十門人

秀和 大野氏号炭瓢齋又
相水翁江戸ノ人似

春門人正徳四年
甲午八月没ス

小男ト云々

秀堂 大野氏秀
和嫡子

周桂 専門碩
門人

周牛 尚砂岡我

周竹 清水氏号寸松齋又
粥翁住武都田所町

嵐雪門人
点式附屬

春清 井坂氏江戸
人立圃門人

春來 号六
益仙

春澄 青木氏重頼門人正
徳五乙未年死ス

春倫 濱田氏大坂
人宗因門人

風をくまらぬるの屋の

春帆 称富森助右衛門播磨赤穂浅野侯藩中

正秀 出子 万部

正在 小原氏京師人

正伯 鴻本氏京師人

正友 加友門人伊勢山田杉本勾當望一弟也

住武郡芝源助 橋延宝中ノ人

「ハおの終りつね花の舟」

正立 季吟二男住新玉津島

正式 池田氏大和郡山藩士貞徳門人

昌休 ノ慶長頃當時宗匠ノ祖宗牧門人

昌叱 門細巴人

昌琢 門玄仍人

昌程 門玄的人

昌三 貞徳長子儒ヲ業トス一切經八千枚寫

昌易 号春秋館昌三長子儒ヲ業トス子孫世

昌房 称茶屋典兵衛近江膳所ノ人

舜山 帶金氏白峯門人初從才麻呂茂麻呂ト

舍羅 芭蕉翁門人大坂ノ人

社麥 初名助山人

軒葉 貞山人

處士 号無腸医ヲ業トシテ難波ニ住ス宗因

重房 維舟門人京師人

常長 村田氏号松風軒貞享中没ス京師ノ人

三十八

田中氏共

常矩 田中氏常長門人又良保門人或ハ秀吟

常收 門人云

常辰 長門人 繁田氏常

常陽 木戸氏住江都京橋後根岸社職トナル

常仙 志村氏号孤宦

常信 狩野氏 尚信男

如行 近藤氏美 濃大垣人

如貞 井口氏大坂人 今德門人

如泉 齋藤氏名朝三号真珠菴住平安四條道

如扇 尾張鳴海本陣

諸九尼 号湖白菴 筑前人

序令 石内氏其 角門人

俊秀 安靜門人 京師人

壽角 立羽氏号松千堂不角二男

拾翠 嵐雪門人

耳谷 長島氏沾洲門人享保十三戊申年没ス

又魚 沾德門人

出紫 松樂軒立 志門人

自躰 李由ノ孫也元文二丁巳年筮のヲテト

幕後入川をのり色ほとまは

何ととも毎々名を以て初まは

此れは〜牡丹の名物〜

めいげん〜やけの〜

三十九

三十九

三十九

三十九

三十九

三十九

三十九

三十九

三十九

三十九

云集

自笑

自休

加賀金沢ヨリ一里
程西宮ノ越ノ人
名貞國稱深見十左
衛門寛文ノ頃東都

ニ六方男達ト云モノ
多アリシ其徒ノカシ
也常ニ好俳諧若カリ
時人ト打合向齒二枚
ツケルカ金ヲ以テ齒
シテ菩提所本御斤町
光寺ノ境内ニ菴ヲソク

リテ住ス享保十五庚戌
年三月十八日没ス九十
院心溪自休庵主墓一應

示蜂

稱植村權左衛門
伊賀上野ノ人

白雄

号春秋菴信濃上田
藩加舎六郎左衛門

二男稱加舎五郎松露庵
鳥醉末弟住江戸馬喰町

附本店寛政三年辛亥九
月十三日没五十三歳品

川海晏寺
ニ葬ス

士郎

井上氏稱專廂或作
僊菴尾張名古屋人

住新町号琵琶
園又朱樹翁

比部

未得

石田氏号乾堂江戸
人一時江戸ヲ去リ

相摸ニ隠レ幾程モナク
歸来リ髮ヲ削リテ兩睿

町ニ住ス貞徳門人寛文
九年乙酉七月十八日八

十有餘ニシテ没ス墳墓
浅草誓願寺ニ在リ自性

未琢

石田氏未得長子号
良堂天和二壬戌年

三月廿七日七十有餘ニ
没ス隆芳院未琢居士著

下本草
川喜の町西の喜や

小春

加賀金沢人住長尾町通林官竹屋伊右

衛門藥店也

紹康

小野氏号一炊菴沾德門人住大坂明和

中没

紹巴

里村氏号臨江齋叙法搞慶長五庚子年

遊大德寺地中
正更院=墓アリ

樹の花多めく字才るもの

紹雪

超波門人

西武

山本氏号風外軒又無外齋住京師綿ヲ

商フ貞德門人髮ヲ削ル延室中七十三歳ニテ死

ス著述くろく。あつ、千句。砂金袋。勺續。何上草。つ

いすへ子。萩の花

西鵬

井原氏号松壽軒大坂人初号二万堂西

崔又二萬翁宗因門人元禄六癸酉年秋没又五十

西吟

住摂津櫻塚西雀門人

仙鶴

堀内氏号化笛齋又長生菴江戸人遠茶

道善戲画沾德門人寛延元戊辰年閏十月没又七

十四

沾德

水間氏称治郎左工門江戸五郎兵衛町

磨工也号合歡堂為露沾子門人飛鳥井雅章卿岩

城へ左遷ノ時剃髮シテ改名友齋公ニ從ヒ附添

奉ル一三年公帰洛シ王ノ後露葉又沾德ト改ム

享保十一丙午年六月晦日没又六十二歳平河山

法恩寺ニ葬ル著述一字幽蘭集。餘花千句。同続

あくと用と空せの飛花多々々々

沾涼

菊岡氏号崔下菴又仙竹齋露沾子門人

往東都神田著述百福壽同續。百花実。日本道中行

七

四十一

程記。日光名跡志。江戸鹿
子。里人誌。延享二年乙丑
四月没六
十余歲

沾洲

貴志氏号行翰軒初
名民丁沾德門人

沾山

内田氏号杜坊住東
都浅草沾德門人

千那

号葡萄坊近江堅田
本福寺十二世妙武

千山

上入任律師享保八癸卯
年四月十七日寂八十七

千歲

稱紀伊国屋文左工
門敬兩男其角門人

泉石

名中津等院二葬ス法
地中津融相下謚ス

泉石

浪花
享保十九甲寅年四月二
十四日死又深川靈巖寺

仙化

一作仙花
蕉門ノ人

仙水

挑井氏
山夕男

仙水

蟹もももく仲のゆふ

專碩

文明項宗
祇門人

專吟

秋氏似
春門人

きのよを眼のまふまのまをふ

全獅

和秋氏調
和門人

ちんちんちんちんちんちんちん

全故

号素龍齋江戸人炭
依集ノ序文ヲ書

蟬吟

藤堂
族

青峨

篤田氏号六盆仙沾
德門人住東都茅場

青蛾

前田氏号二柳軒別
号紫子菴昔至始泰

青蘿

室住東都築研堀宝曆九
年己辰四月十六日卒

青蘿

尾張人寛政三辛亥
年六月十七日五十五

省菴

安藤氏昌
三門人

省菴

卒二歲

清春 号昌雲軒万治ノ頃
徳元門人著述。安山

集。鹿敬集。千句集
清少納言のくわんりゅう

清壽 称厩屋彦四郎
室曆頃ノ人

雪之 伊賀上野人称山田
屋市兵衛蕉翁從弟

尺山 松永貞
徳正統

聖柴 東都神田鍛冶町ニ
住ス宗因比ノ人談

尺山 始林風ノ

是橘 是吉也其角カ僕イ
ツモコレト呼故

自然ト如斯勸進帳ト云
集ニとリ且那點と好ク喰

善輔 浴粟田口ニ住
ル隱者ナリ

成屋 長坂氏号青苔礎
初仙格沾洲門人

成美 号隨齋称井筒屋八
郎右衛門東都浅草

御藏前瓦
町ニ任ス

捨女 号貞閑丹波柏原人
為尼学于季吟之門

元 元禄十一戌寅年八
月十日没六十五歳

水元 徳元門人万治中
人廻文ノ句アリ

隨流 号松日菴京師人西
武門人著永代記

隨有 龍川氏昌
三門人

須部

をとのつこりやまのりたのりや

